

## 研究：COVIDショットはデルタ感染力を高める

ジョセフ・メルコラ博士による分析

✓ ファクトチェック

### 一目でわかるストーリー

- 米国疾病管理予防センターによると、COVIDを早期に撃たれた人々は、現在、重度のCOVID疾患のリスクが高くなっています。
- これは、抗体依存性増強（ADE）が発生していることを示している場合もあれば、提供される保護がせいぜい数か月に制限されていることを示している場合もあります。
- 最近の研究では、デルタ変異体は「野生型スパイクワクチンに対する完全な耐性を獲得する可能性がある」と警告しています。これは、ウイルスにさらされたときにファイザーのショットを受けた人がより重症の病気になるという最悪のシナリオになる可能性があります。
- 「ウイルスに先んじる」ために、バイデン政権は現在、以前に提案されたように、8か月待つのではなく、最初の2回の投与から5か月後にブースターショットを推奨することを検討しています。
- イスラエルのデータによると、ファイザーのショットは当初の95%の有効性から、デルタ株が優勢になった2021年7月下旬までに39%になりました。米国食品医薬品局のワクチンに対する期待は、プラセボと比較して少なくとも50%の有効率です。

公式のCOVID-19ワクチンの説明は最近急速に変化しています。「ワクチン接種を受けた場合、COVIDに感染しない」<sup>1</sup>、デルタ変異体を含む<sup>2</sup>、「早期にワクチン接種を受けた人々は重度のCOVID疾患のリスクが高い」まで、わずか1か月かかりました。<sup>3</sup>

最初から、私と他の多くの医療専門家は、これらのショットが抗体依存性増強（ADE）を引き起こす可能性について警告しました。この状況では、ショットは実際に病気の合併症を予防するのではなく促進します。その結果、野生のウイルスに遭遇

した場合、「ワクチン接種」を受けていない場合よりも深刻な病気にかかる可能性があります。

ADEが発生しているという明確な証拠はまだありませんが、発生している可能性があるという疑わしい兆候が見られます。今年初めに発砲した人々が現在、重度の感染のリスクが高いことを示すデータは、そのような兆候である可能性があります。最低限、これらのショットから得られる保護は非常に一時的なものであり、数か月しか続かないことを示しています。

これは、特定のスパイクタンパク質に対して1種類の抗体を生成するように体をプログラムすることを考えると理にかなっていません。スパイクタンパク質またはウイルスの他の要素が変異し始めると、保護は根本的に低下します。さらに悪いことに、ワクチンは「漏れやすい」ものであり、部分的に効果のない免疫防御しか提供しないため、変異体の実際の生産を容易にします。

自然免疫ははるかに優れています。感染から回復すると、体はウイルスの5つのタンパク質すべてに対する抗体に加えて、抗体レベルが低下しても残るメモリーT細胞を作ります。これにより、免疫機能が損なわれていない限り、生涯続く可能性が高いはるかに優れた保護が得られます。

イスラエルの実世界のデータはこれを裏付けており、COVIDジャブを受けた人は、自然免疫のある人よりも感染する可能性が6.72倍高いことを示しています。[4](#)、[5](#)、[6](#)

## CDCは「ワクチン」免疫が持続しないことを認めています

2021年8月20日、報告書では、BPRは指摘：[7](#)

「本日および来週公開するデータは、SARS COVID 2感染に対するワクチンの有効性が低下していることを示しています」と、CDCディレクター **[Rochelle Walensky]**は始めました...彼女は、イスラエルを含む国際的な同僚の報告を引用しました。早期にワクチン接種された人々。」

恐れることはありません、ジャブを通してアメリカ人の免疫を売り込もうとし、彼らが妨げた自由を返還することを約束した同じ人々は計画を持っており、彼らは個人的な選択の余地をあまり残していません。

「これらの懸念に関連して、ワクチンによる防御を最大化するために、来月からアメリカ人がブースターショットを受け取ることが計画されています。私たちの計画は、アメリカ人を保護し、このウイルスの先に行くことです」とワレンスキーは共有しました...

**CDC**ディレクターは、ワクチンの有効率には厳しい期限があり、その保護は絶えず変化する環境では制限されていることを認めているようです。

「この一連の証拠を考えると、重度の感染、入院、および死亡に対する現在の強力な保護が今後数か月で減少する可能性があることを懸念しています。特に、リスクが高い人や、予防接種の段階で早期に予防接種を受けた人の中では、」と **Walensky** 氏は説明しました...

9月20日以降、少なくとも8か月前にファイザーまたはモデルナワクチンの2回接種を完了したアメリカ人は、ブースターショットの対象となります。

「通常の」社会に戻るゴールポストは、ますます移動し続けています。アメリカ人、特に最初の予防接種を順守した人はいつ十分になりますか？」

## データはショットから急速に衰退する免疫を明らかにします

実際、イスラエルのデータによると、ファイザーのショットは当初の95%の有効性から、2021年7月上旬には64%に、デルタ株が優勢になった7月下旬には39%になりました。<sup>8</sup>は、<sup>9</sup>一方、いずれのワクチンについて、米国食品医薬品局（FDA）の期待は、少なくとも50%の有効率です。

ファイザー自身の試験データは、2021年3月13日という早い時期に効果が急速に低下していることさえ示しました。BMJの副編集長であるピーター・ドシは、2021年8月23日のブログでこれについて議論しました。<sup>10</sup>

試験開始5か月目までに、有効性は96%から84%に低下しましたが、試験参加者の77%が米国にいたため、この低下はDeltaバリエーションの出現によるものではありませんでした。数ヶ月後まで出現します。これは、COVIDショットが、新しい亜種に関係なく、非常に一時的な効果があることを示唆しています。

さらに、イスラエル当局はファイザーの注射が入院と死亡を防ぐのに依然として効果的であると主張しているが、ダブルジャブされた多くの人は最終的に病院に行き、入院率はワクチン未接種から1回か2回の注射を受けました。たとえば、8月中旬まで

に、深刻なCOVID症例の59%は、2回のCOVID注射を受けたイスラエル人の中で発生しました。<sup>11</sup>

## 重篤な感染症のリスクが高い50歳以上のVaxxed

英国のデータは、50歳以上の人々の間で同様の傾向を示しています。この年齢層では、部分的および完全に「ワクチン接種」された人々が入院の68%、COVIDによる死亡の70%を占めています。<sup>12</sup>

### Covid-19 Delta variant: hospital admissions & deaths in England

(up to August 15)

#### Hospital admissions

Aged 50 or over



Under 50



#### Deaths

Aged 50 or over



Under 50



PA graphic. Source: Public Health England  
Some admissions/deaths could not be matched with vaccination records

## マサチューセッツ州のCOVID入院の80%がVaxxedされました

米国疾病予防管理センターからのデータ<sup>13</sup>も、COVIDショットの有用性について疑問を投げかけています。2021年7月6日から7月25日までの間に、マサチューセッツ州バーンスタブル郡で469件のCOVID症例が発生しました。

陽性と判定された人のうち、74%が2回のCOVID注射を受けており、「完全にワクチン接種された」と見なされました。ジャブされていない人とジャブされた人に異なる診断基準を使用しているにもかかわらず、COVID関連の入院のなんと80%もこのグループに含まれていました。<sup>14, 15</sup>

**“ Pfizer-BioNTech BNT162b2免疫血清はDeltaバリエーションを中和しましたが、4つの一般的な変異がDeltaバリエーション (Delta 4+) の受容体結合ドメイン (RBD) に導入されると、一部のBNT162b2免疫血清は中和活性を失い感染性を高めました。~bioRxiv、2021年8月23日 ”**

CDCはまた、感染症にかかった完全にワクチン接種された個人は、感染したワクチン未接種の個人と同じくらい鼻腔内のウイルス量が高いことを確認し、感染リスクであるという点で2つの間に違いがないことを証明しました。<sup>16</sup>

予防接種の状況が他の人にもたらす潜在的なリスクと関係がない場合、なぜワクチンのパスポートが必要なのですか？ハーバード大学の疫学者マーティン・クルドーフによれば、この証拠はパスポートのケースを破壊します。<sup>17</sup> ワクチン接種率が100%であったアウトブレイクからも明らかのように、彼らは明らかに安全を確保することができません。例としては、カーニバルクルーズライナー<sup>18</sup>や、英国海軍の旗艦であるHMSクイーンエリザベス号での発生があります。<sup>19</sup>

## 研究はファイザーショットがデルタ感染力を高めると予測している

2021年8月23日にプレプリントサーバーbioRxivに投稿された研究<sup>20</sup>は、Deltaバリエーションが「野生型スパイクワクチンに対する完全な耐性を獲得する可能性がある」と警告しています。これは本質的に、ウイルスにさらされたときにファイザーのショットを受けた人がより重篤な病気になるという最悪のシナリオになる可能性があります。著者によって説明されているように：<sup>21</sup>

「ファイザー-BioNTech BNT162b2免疫血清はデルタ変異体を中和しましたが、4つの一般的な変異がデルタ変異体 (デルタ4+) の受容体結合ドメイン

(RBD) に導入されたとき、一部の**BNT162b2**免疫血清は中和活性を失い感染性を高めました。

**Delta NTD**のユニークな変異は、**BNT162b2**免疫血清による感染力の増強に関与していました。野生型スパイクではなく、デルタスパイクによって免疫化されたマウスの血清は、感染力を増強することなく、デルタ**4+**変異体を一貫して中和しました。

**GISAID**データベースによると、**3**つの類似した**RBD**変異を持つデルタ変異体がすでに出現しているという事実を考えると、そのような完全な画期的な変異体から保護するワクチンを開発する必要があります。」

## COVIDショットの積極的な使用は危険な突然変異を促進します

活発な発生時の集団予防接種に対する早期の警告が実現されていることは今や明らかです。突然変異を引き起こしているのはワクチン未接種ではありません。注射は単に感染を防ぐものではないので、それは予防接種を受けています。

最終的な結果は、私たちが続ければ、ワクチン耐性の変異体の出現と組み合わされた一般的な効果の低下のメリーゴーランドに追いつくための連続注射のトレッドミルになります。**Live Science**の報告によると：[22](#)

「ワクチン耐性コロナウイルス変異体は、人口の大部分がワクチン接種を受け、ウイルス感染が多い場合に出現する可能性が高くなります...言い換えれば、米国の現在の状況によく似た状況です。

ジャーナル**Scientific Reports**で7月30日に公開された数学モデル<sup>23</sup>は、特定の集団におけるワクチン接種率とウイルス感染率が、どの**SARS-CoV-2**変異体がウイルスの状況を支配するようになるかにどのように影響するかをシミュレートします...

ウイルス感染が少ない場合、出現するワクチン耐性変異体は拡散する可能性が低くなるため、消滅する可能性が高くなると、科学研究所の進化的ゲノミクス研究室を運営する上級著者の**Fyodor Kondrashov**氏は述べています。テクノロジーオーストリア。」

これらの発見は、まったく同じことを示している以前の研究に精通している人々にとっては当然のことです。Quanta Magazineに掲載された「ワクチンは病原体を進化させている」<sup>24</sup>で説明されているように、「抗生物質が細菌の耐性を繁殖させるのと同じように、ワクチンは病気が制御を逃れることを可能にする変化を引き起こす可能性があります。」

この記事では、1970年に最初に導入された、鶏用の抗マレック病ワクチンの歴史について詳しく説明しています。現在、このワクチンの3番目のバージョンを使用しており、10年以内に機能しなくなります。理由？ウイルスはワクチンを回避するために変異しました。これらの漏れやすいワクチンの結果として、ウイルスはますます致命的になり、治療がより困難になっています。

PLOS Biologyの2015年の論文<sup>25</sup>は、ワクチンが鶏にマレック病を引き起こすヘルペスウイルスの突然変異を引き起こしているという理論をテストしました。そのために、彼らは100羽の鶏にワクチンを接種し、100羽をワクチン未接種のままにしました。その後、すべての鳥がさまざまなウイルス株に感染しました。いくつかの菌株は他の菌株よりも毒性が強く危険でした。

鳥の生活の過程で、ワクチン接種されていないものは環境に最も毒性の低い菌株をより多く流し、ワクチン接種されたものは最も毒性の高い菌株をより多く流します。

Quanta Magazineの記事に記載されているように：<sup>26</sup>

「調査結果は、マレック病のワクチンがより危険なウイルスの増殖を促進することを示唆しています。この病原性の増加は、ウイルスに、鳥のワクチンで刺激された免疫応答を克服し、ワクチン接種された群れを病気にする手段を与える可能性があります。」

## ワクチン接種を受けた人々は突然変異の繁殖地として役立つことができます

2021年以前は、ワクチンがウイルスを押し出してより危険な株に変異させることは非常に明白でした。唯一の質問は、どの程度でしたか？今、突然、私たちは従来の科学がずっと間違っていたと信じています。別の例を次に示します。2021年2月9日という最近のNPRは、「ワクチンはウイルスの突然変異に寄与する可能性がある」と報告しました。NPRの科学特派員リチャードハリスは次のように述べています：<sup>27</sup>

「バクテリアが抗生物質に対する耐性を発達させ、最悪の場合、薬を役に立たなくする可能性がある」と聞いたことがあるかもしれません。ワクチンでも同様のことが起こり得ますが、それほど深刻な結果はありません。

この懸念は主に、より多くの人々が最初の接種を迅速に受けることができるように、2回目のワクチン接種を遅らせるかどうかについての議論で生じました。ロックフェラー大学のハワードヒューズの研究者であるポールビーニャスは、ギャップが人々に必要以上に長い間部分的な免疫しか持たないだろうと言います。

ビーニャスによれば、部分的にワクチン接種された個人は、「ウイルスが新しい突然変異を獲得するための一種の繁殖地として役立つかもしれない」。これは、自然淘汰を理解していない人々によるワクチン未接種の人々に現在起因している正確な主張です。

ウイルスは継続的に変異することを理解することが重要です。感染を完全に阻止する滅菌ワクチンがない場合は、ウイルスが変異してその人の免疫応答を回避します。これは、COVIDショットの特徴の1つであり、感染を阻止するようには設計されていません。それらは感染の発生を可能にし、せいぜいその感染の症状を軽減します。ハリスが指摘したように：<sup>28</sup>

「彼の進化の圧力は、感染を完全に阻止しないワクチンに存在します...明らかに、COVIDワクチンを含む多くのワクチンは、これらのワクチンが深刻な病気を予防するとしても、ウイルスが誰かの内部で増殖するのを完全に予防しません。」

要するに、細菌が変異し、抗菌剤の攻撃に耐えるために強くなるように、ウイルスは、ウイルスに感染したワクチン接種を受けた個人で変異する可能性があり、それらでは、免疫系を回避するために変異します。

一方、ワクチン接種を受けていない人では、ウイルスは、より強いものに変異するという同じ進化の圧力に遭遇しません。したがって、SARS-CoV-2が最終的に致死性の高い株に変異する場合は、集団ワクチン接種が最も可能性の高い要因です。

## NFLの発生が私たちに伝えることができること

2021年8月27日にMSNによって報告されたように、<sup>29</sup>は、プレイヤーが全員の安全のためにCOVIDショットを取得するように促されたため、個別のテストルールが導入されました。ジャブを取得したプレイヤーは2週間ごとにテストする必要がありますが、ワクチン未接種のプレイヤーは毎日テストを受けます。

ダブルジャブプレイヤーの緩和されたテスト要件は、先に進んでショットを取得するためのインセンティブとして使用されました。MSNが報告したように、「逆に、継続的な毎日の検査は、ワクチン未接種者の生活を非常に煩わしくし、最終的には乗船させる罰則システムの一部になるでしょう。」<sup>30</sup>

まあ、これは計画通りにうまくいきませんでした。9人のタイタンズの選手とヘッドコーチのマイク・ブレイベルがテストで陽性を示し、ダブルジャブであるかどうかは問題ではないことを示しています。感染は、同じようにvaxxedの間で広がります。

MSNが指摘したように：<sup>31</sup>

「パンデミックは、ワクチン未接種の人がCOVID-19のより攻撃的な株の復讐に直面している段階にあります。また、予防接種を受けた人が、自分の注射で症状や合併症を軽減しているが、感染や他の人へのCOVIDの感染を完全に防ぐことはできないという現実に取り組んでいる時代でもあります。」

この問題を解決するために、ナショナルフットボールリーグの選手を代表する組合であるNFL選手協会は、COVIDジャブの状態に関係なく、すべての選手の毎日のテストに戻ることを求めています。何度も何度も、インセンティブは当初の約束をはるかに下回っています。これはマスクにも当てはまります。

まず、COVIDに感染した場合は、マスクを着用する必要がなくなったと言われました。もちろん、打ち抜き感染が依然として驚くべき速度で発生していることが明らかになったとき、ユニバーサルマスクの推奨事項は完全に復活しました。

現在、注射の状態に関係なく、約97%<sup>32</sup>の割合で偽陽性を生成することが知られているテストによる定期テストが再び促進されており、ワクチンパスポートで同じことが起こらないと仮定する理由はありません。医学の自律性を放棄すれば自由が約束されますが、実際に自由が与えられることは決してありません。彼らはゴールポストを動かし続けるでしょう。

その劇的な効果がないにもかかわらず、1つまたは2つのCOVIDジャブの要件がまもなく3つになり、その3番目のショットを取得したくないワクチンパスポート保有者がSquareに戻る可能性が非常に高く、実際には予測可能です。1.彼らはショットをとらなかった人々と同じくらい望ましくありません。

SARS-CoV-2が変化する速度を考えると、4番目のショットと5番目のショットがあることを確信できます。ワクチンのパスポートとCOVIDジャブの要件は、単に追加のショットを取得し続けるか、すべての特権を失う必要がある状況につながります。

もちろん、すべての注射には健康上のリスクが伴い、有害事象のリスクはおそらくショットを追加するたびにますます大きくなります。これが私たちをどこに導くかを見るために現代のノストラダムスである必要はありません。

## 現在検討中の5か月のブースターショット

残念ながら、他の多くの一般的な風邪やインフルエンザウイルスと同じように、SARS-CoV-2が存在するという現実を受け入れ、事態を悪化させるだけの注射のメリーゴーランドを止めるのではなく、バイデン大統領は以前に示唆されたように、彼は注射の最初のラウンドの後の5ヶ月のマークでブースターショットを与えることについて、8ヶ月待つのではなく、アンソニー・ファウチ博士と話したと言いました。<sup>33</sup>

ファウチは、8か月がまだ目標であるとすぐに答えたが<sup>34</sup>、食品医薬品局と免疫化実施諮問委員会がより早いタイムラインが必要であると判断した場合、「データが入ってくると、データを受け入れる」とも述べた。

イスラエルは、2021年7月30日60歳以上の人々に3回目のブースターショットの投与を開始しました。8月19日、ブースターの資格は40歳以上の人々だけでなく、妊婦、教師、医療従事者も含むように拡大されました。彼らが40歳未満の場合。最初の報告では、ファイザーを2回しか服用しなかったグループと比較して、60歳以上のグループでは3回目の服用で保護が改善されたことが示唆されています。<sup>35</sup>ロイターによると：<sup>36</sup>

「イスラエルのガートナー研究所とKI研究所の統計を分析すると、省当局者は、60歳以上の人々の間で、3回目の投与後10日から提供される感染に対する防御は2回の投与後よりも4倍高かったと述べました。60歳以上の3

番目のジャブは、深刻な病気と入院に関して、**10日後に5~6倍の保護を提**供しました。」

1つまたは複数のブースターショットが**SARS-CoV-2**の答えであると考える人は、だまされている可能性があります。副作用率はもちろんのこと、今後数ヶ月の入院率と死亡率のデータに不安を感じることを楽しみにしています。

これらのショットのリスクと突然変異を助長する傾向について私たちがすでに知っていることを知っているのも、私たちがしているのは、抜け出すのがますます困難になる、ますます深く、ますます広い穴を掘ることだけだと疑うのは合理的です。の。